

株式会社東製作所

TEL.048-225-0281 FAX.048-224-7526

URL <http://www.s-azuma.co.jp/index.htm>

代表者：代表取締役 中田 裕康
 所在地：〒116-0011 荒川区西尾久2-13-10
 資本金：1,000万円
 従業員：8人
 工場：埼玉県川口市領家3-20-14(川口工場)

創業年：昭和35年(法人化 昭和38年)
 業種：金属加工業
 事業内容：各種精密板金加工、レーザー加工、
 NCターレットパンチ加工、
 NCベンダー加工、各種溶接、旋盤

精密板金加工の地位を固める

昭和35年5月に、現社長の父「中田満氏」が個人企業として、荒川区に電気照明器具製作及びその他一般金属製品プレス加工・板金業としてスタート。3年後の昭和38年に法人化し、大手電機メーカーや通信機器メーカーの部品製作を手がける。

昭和51年に川口工場を立ち上げ、昭和57年当時では稀有の炭酸ガスアマダレーザーマシンを率先導入し、高品質製品加工への体勢を整えた。



本社兼ショールーム 外観

昭和58年7月レーザーマシンに興味をもたれた(旧)富士ゼロックス(株)((現)富士フィルムビジネスイノベーション(株))からの受注に成功し、試作部品の加工を主として短納期・高精度のニーズに応える。

さらに精度を高めるため、「三次元座標測定器」を導入。また、理想科学工業株式会社との取引にも成功し、精密板金加工の地位を固めるべく邁進中である。

お客様に満足していただける製品づくりを目指す

溶接や検査といった工程を自社内で対応、三次元測定機を活用した品質管理まで全て一貫したワンストップの生産体制をとっている。自社独自のQC工程管理表に基づいて作業を行うため、徹底した品質管理・材料の削減が可能となっている。

試作部品の製作には、蓄積された経験・独自のノウハウを持つため、様々な「モノづくり」に対応して「お客様に満足していただける製品づくり」を目指している。

自社内で対応できない注文にも、他社との連携を駆使し、短納期・高品質の製品の提供が可能となっている。

コストダウンや技術的な提案をサポート

顧客から出された図面に対して、ただ見積もるのではなく、長年培ってきたモノづくりのノウハウを生かして、コストダウン(曲げ、絞り等)が出来るなどの提案や、量産に向けての提案(VA(価値分析)、VE(価値工学)の提案)力強化で品質の安定、加工の効率化が得られ顧客満足度をあげている。

また、若手社員を対象に様々な技術系の研修やセミナー等に積極的に参加させて、「モノづくりのノウハウと楽しさ」を身につける様な取り組みも積極的に行っている。

三次元測定機を駆使して、顧客に安心して提供出来る様に検査データを納品時に品物と一緒に添付している。それにより品質にも今迄以上に責任を持って顧客の要望に応えるべく、日々努力をしている。

脱下請け

試作部品の製作を主に手がけてきたが、近年「3Dプリンター」を使った自社での試作やベトナム・台湾などで試作作成をする企業が増えてきていることもあり、試作の需要が伸び悩んでいる。

待っているだけの今の体勢では立ち行かなくなる。試作で培ってきた技術を駆使し、自社製品を作り「オリジナルブランド」を立ち上げるのが急務と中田社長は考える。



三次元測定機
XYZAX SVF NEX 6/5/3-X1
X 600 Y 500 Z 300 迄測定可能

炭酸ガスレーザー加工機
ML13XF形CO2レーザー発振器、
定格出力 1,300W

サーボベンダー加工機
長さ 2,000 迄曲げ可能。

ワイヤーカットでは無くレーザー加工機での切断

普段、ワイヤーカット等で抜く様な板厚が薄い材料に関しては、レーザー加工機で切断する事が出来る為、スピードも早くコストダウンにも繋がり尚且つ板厚0.05mmからの対応が可能であり、短納期にも当然対応可能。

特に板厚が薄い物は、レーザー切断後平面が歪みますが、その歪みも今迄の経験と技術で最小限に抑えられる。

又、ブランク加工だけではなくて当然曲げ加工も可能。

蓄積された経験、独自のノウハウにより、高度な精密加工技術を有し、短納期・高品質の製品作りを目指して邁進中。

主な保有設備

- 三次元測定機
- レーザー加工機 2台
- NCターレットパンチプレス 1台
- NCベンダー 5台
- キッカープレス 3台
- タッピング 3台
- 溶接機 5台
- CAD/CAM 3台
- コーナーシャーリング、プレス機、シャーリング、NC旋盤、平面研磨盤
- ボール盤、卓上ボール盤、カシメ機

主な認証・実績等

- エコアクション21 2007年4月

